

○ 中学校社会 第1学年 ⑥  
「中世後期」(民衆の生活の変化)

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領との関連	評価の観点		
			関 意	思 判 表	知 技 理
(1)	商業の発展とともに営業を独占する権利を認められた座や土倉・酒屋に対して、武士や寺社などが得た見返りについて説明する問題である。	歴史的分野 (3)中世の日本  上記内容(3)のうち、「産業の発達と民衆の生活」という視点から中世後期(室町時代)を捉えさせる活用問題である。		◎	○
(2)	富裕な商人たちで構成された会合衆により治められ、日明貿易の中継地として栄えた自治都市名を答える問題である。	「民衆」の視点から集めた資料をもとに作成したレポートと構想メモを手がかりに、民衆が力を伸ばした中世後期(室町時代)の特色を理解させることが主なねらいである。		○	◎
(3)	農業生産を向上させた「二毛作」の生産方法を転用させ、資料をもとに「三毛作」について説明できるかをみる問題である。	問題を解く際には、提示された資料から読み取った情報や既習の知識などを活用して、授業で学んだことを転用させていくことが大切である。		◎	○
(4)	民衆が起こした徳政一揆とは、どのようなことを幕府に対して求めたものであったかについて、資料を参考にしながら説明する問題である。			○	◎